

2020年12月11日
北近畿経済新聞(3面)に掲載されました

人生の 「ねじ」を巻く

77の教え

日東精工株式会社

32

朝顔の花を咲かせるには
夜の冷たさが必要
花が開いたときの感動を味わう

植物たちの不思議なパワーには教えられないことが多いものです。朝顔なども、朝咲いて昼過ぎには萎れるひ弱なイメージですが、なかなかどうしてしっかりもの。七月の初旬から晩秋まで咲き続け、秋の花と扱われることがあるほどです。

この朝顔が、どうして決まったような時間に花を咲かせるのかを研究した方がおられます。朝顔は夜明けに咲きますが、私たちは朝の光を受けて朝顔の花が開くのではないかと考えていますね。しかし、その研究家のためまぬ実験の結果、朝顔の花が開くためには、光とか、あたたかい温度とかそういうものだけでは不十分である、ということがわかったのだそうです。試しに二四時間、光をあてっぱなしにしていた朝顔のつぼみは、ついに開きませんでした。

朝顔のつぼみは朝の光によって開くのではないのです。それに先立つ夜の時間の冷たさと闇の深さが不可欠だったのです。そのサイエンスレポートは淡々としたものでしたが、それが逆に、凄く印象的な感動を与えたのです。

当社の工学部出身者は、その多くが来る日も来る日も実験に明け暮れ、それでもはかばかしいデータが得られないという経験をしています。それでも長い闇から花開いたときの感動は忘れ得ぬもの。朝顔のレポートには共感できるものがあります。

私たちを取り巻いている経済環境は、先の見えない、それを冷たく、深い闇の中にあるかのようなようです。でも、これをハネにして、一日も早く大輪の花を咲かせようというのが、朝顔からの教訓なのかもしれません。

※「人生の「ねじ」を巻く77の教え」より転載



人生の「ねじ」を巻く77の教え

著者 日東精工株式会社 企画室
発行所 株式会社ポプラ社
1,000円(税別)で販売中